

本物の銀イオンって何？

銀は
水銀とは
全く違う

- ・水銀は「Hg」これは猛毒
- ・銀は「Ag」安心・安全



銀は食品添加物

銀イオン
とは？

- ・水の中に完全に溶け込んだ状態が常にキープされている状態
- ・生成後、数ヶ月で分離するものは、イオン化した銀イオンとは言えない【**ナノ銀・ゼオライト銀がこれにあたる**】
- ・粒子がピコの単位で初めて電子を持ちイオン化された「銀イオン」となる



食べる銀

銀イオンと違う

ナノ銀
ゼオライト銀

- ・ナノ単位でイオン化されていない
- ・国内で販売されている銀イオンはほとんどは、これ
- ・生成から数ヶ月は効果はあるが、以降降水と分離して効果が激減する



1/1000

ピコ銀

- ・電気分解方式(5ppmまでしか生成できない)
- ・独自方式(製品MAX:100ppm)



本物の高濃度
銀イオンで展開!!

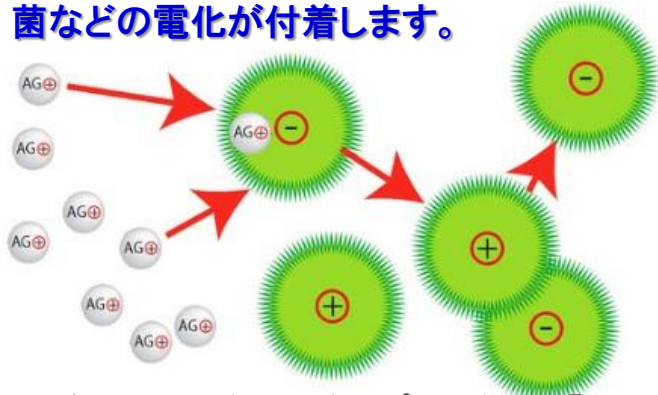
安定高濃度

Clean Ag+
【200ピコ】

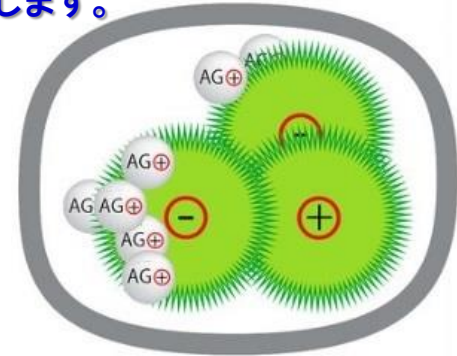
- ・高濃度ピコ銀イオン
- ・クリーンテック販売のオリジナル製品
- ・この製法はどこも真似できない

銀イオンの効果って？

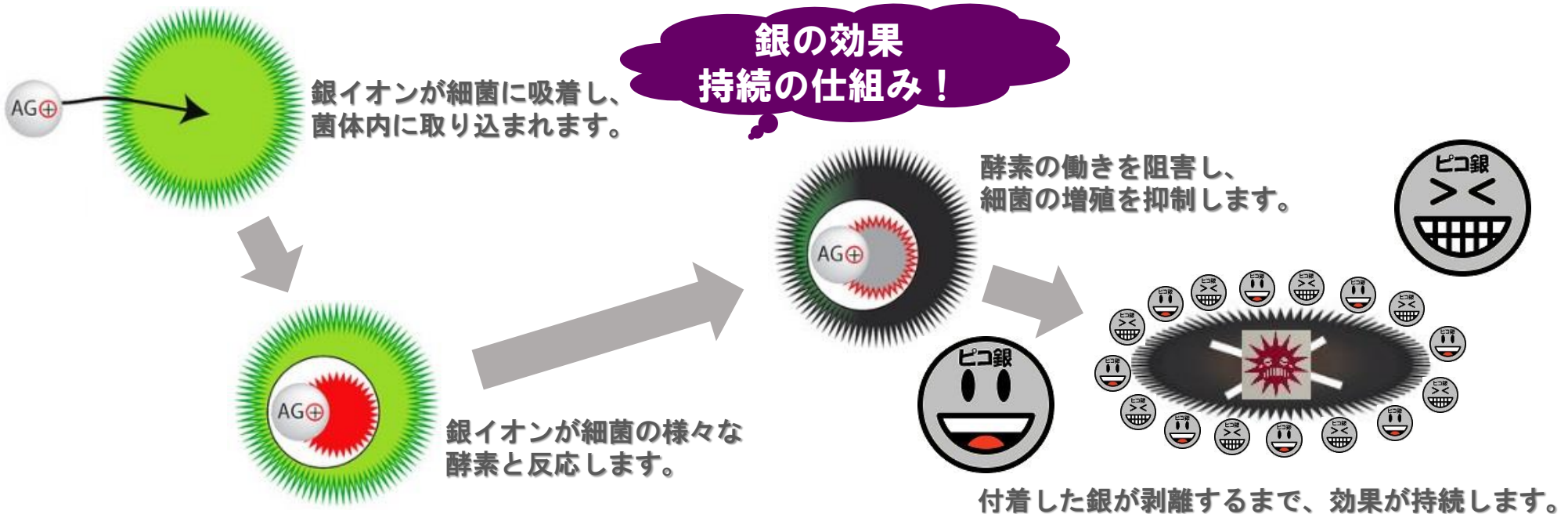
図① 銀イオン(エージープラス)の「+」にウイルス・菌などの電化が付着します。



図② 付着したものが銀の化合物となり落下します。



銀イオン(エージープラス)の「+」にウイルス・菌などの電化が付着します(上図①)
付着したものが銀の化合物(銀)になり、その化合物が壁や床に付着します(上図②)
床や壁に付着した化合物には、銀の持つ抗菌作用が持続。銀が剥離するまで続きます。



銀イオンが細菌に吸着し、
菌体内に取り込まれます。

銀の効果
持続の仕組み！

銀イオンが細菌の様々な
酵素と反応します。

酵素の働きを阻害し、
細菌の増殖を抑制します。

付着した銀が剥離するまで、効果が持続します。

こんな時こんな場所で使ってください

①【ミストタイプ】



衣類にシュッ! タバコの臭いや気になる臭いが消えます
嘔吐物にも 後始末後に吹き掛けると一瞬で臭いが!
靴や汗臭い部分にも シュッと一瞬で臭いが消えて驚き!

<フェイスマスクと銀イオン>



化粧水としても!

- ・フェイスマスクに浸してパック(お肌予防)
- ・拭取り化粧水として

②【ハンドフォームタイプ】

手で揉み洗い 瞬間除菌できて、手に付いていた臭いも取れるよ~!!

コラーゲン配合 アルコールと違ってカサカサしない。
スベスベ・シットリ感で、手荒れもしない(修復してくれる)
とっても優れものです。

手以外の場所にも 脇下などのデオドラント効果に最適!



③【ジェルタイプ】

ペットの部屋に ペット臭が消えた!

トイレに置いてます 嫌な臭いがなくなりました。

車にも 不思議なぐらいタバコの臭いがなくなりました。

エアコン 臭いも無くなり、空気の変化が変わります!

生ごみの近くに 生ごみ臭が消えました。驚き!



各商材との比較

銀イオン 各消臭剤比較表

株式会社クリーンテック販売 中野
2019年12月3日

項目	銀イオン水		弱酸性次亜塩素酸水		二酸化塩素系		植物系・界面活性剤系		アルコール系	
	評価		評価		評価		評価		評価	
消臭	◎	原料臭もなく消臭作用あり	△	塩素臭で判断に欠ける	△	塩素臭で判断に欠ける	○	原料臭は若干影響するが消臭作用あり	△	アルコール臭のため判断不可
抗菌(菌)	◎	効果あり (日本食品分析センター評価)	○	持続性は疑問	△	ガスが早く抜ける為持続性は疑問	△	ほぼなし (製造各社のデータのみが多い)	△	揮発が早い為 長期の抗菌性には欠ける
ウィルス	◎	効果あり (日本食品分析センター評価)	○	持続性は疑問	△	ガスが早く抜ける為持続性は疑問	×	効果なしと思われる	×	ノロウイルスなどウイルスには 効果なし
カビ	◎	死滅できるが漂白作用はなし (日本食品分析センター評価)	○	漂白作用あり 根までの効果は疑問	△	漂白作用あり 根までの効果は疑問	×	効果なしと思われる	×	効果なしと思われる
持続性	◎	持続性あり (日本食品分析センター評価)	△	一週間程度あり (塩素ガスが抜けるまでの期間)	△	一週間程度あり (塩素ガスが抜けるまでの期間)	△	主に瞬間消臭	×	持続性なしと思われる
安全性	◎	安全性あり (日本食品分析センター評価)	△	刺激性あり	△	刺激性あり	△	不明 (製造各社のデータのみが多い)	△	大量に使用しなければ問題なし
臭気	◎	無臭	△	塩素臭あり (影響には個人差あり)	△	塩素臭あり (影響には個人差あり)	△	若干の原料臭	△	アルコール臭
保管性	○	冷暗所保管で一年以上問題なし (テストで3年以上は継続中) (経年劣化はありうる)	×	酸素に触れると水に戻る 紫外線に弱い (希釈後半年は持たない) (早いものは持続性一週間)	×	塩素ガスが抜ける為 一年以上は疑問	△	商品によって防腐剤の使用あり	△	PET容器では保管不可 その他容器でも揮発対策が必要
金属に対するサビ	○	問題なし	×	腐食あり	×	腐食あり	△	腐食あり (塩素ほど腐食しない)	△	腐食あり (塩素ほど腐食しない)
機器類に対する影響	○	問題なし	×	影響あり (5年以内壊れる報告多数)	×	影響あり (5年以内壊れる報告多数)	△	影響あり (塩素ほど腐食しない)	△	影響あり (塩素ほど腐食しない)
樹脂に対する影響	△	時間の経過や直射日光で 容器内が若干黄色くなるが、 性能劣化はしない	×	劣化あり	×	劣化あり	○	問題なしと思われる (試験データなし)	△	ポリエチレンは問題なし PETは割れ、漏れあり
繊維に対する影響	△	汚れ部分に大量に付着すると 淡い赤色になることがある	×	漂白作用あり	×	漂白作用あり	○	変色以外は問題なしと思われる (試験データなし)	△	通常は使用しない (シミ取り程度なら問題なし)
皮膚に対する影響	◎	無刺激 (日本食品分析センター評価)	×	刺激あり	×	刺激あり	△	影響には個人差あり	×	若干の刺激あり

※ 当サイトの内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

上記、自社調査